

箕面市議会議員アンケート(1)

みのお議会ウォッチングの会

		自民党同友会								市民派ネット		
設問		議員名	牧野芳治	神代繁近	印藤文雄	永田	中井	上田	稲野	中西智子	森岡秀幸	尾上輝美
議会費	削減が必要なもの(1.議員定数の削減 2.議員報酬の削減 3.調査研究費の削減、その他)		議員報酬の削減	議員定数の削減	議員報酬の削減	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	公用車の廃止、意義の薄い視察はやめる	役職加算・公用車・視察の見直し	各種審議会・委員会の報酬見直し、議会用公用車の見直し
	その理由		議員報酬をカットし、議員定数は現状維持で、トータルで議会費の削減をするべき	—	働き盛りの30～40代の年収に配慮した報酬額の検討が必要					—	定数削減や報酬削減は必ずしも市民に利をもたらさない。削減はできることから実施するべき	—
議会の政策能力を高める	必要と思われるもの(1.議員研修の充実 2.議会を補佐する事務局の充実 3.議員力検定制度等の活用、その他)		事務局の充実	事務局の充実	議員研修の充実					事務局の充実、会派を超えた政策研究会	事務局の充実	事務局の充実
	その理由		議員力検定制度などのペーパーテストで議員の仕事は判断できない、経済学者が会社経営をやればうまくいくか・・・という議論に似ている	—	マスコミや風評に左右されることなく、専門的見地からの判断力を養う必要があると考える					—	議員提案の環境整備上、必須。政策能力の向上は必要。個人(会派)の研鑽や努力がまず先、意識の問題も大	—
市民に開かれた議会	必要と思うもの(1.議会用語の改善 2.議会質問の改善 イ.一問一答方式 口.反問権ハ.議員間の自由討議 3.市民や参考人の議会での発言認可)		一問一答方式 反問権、自由討議	反問権、自由討議	自由討議					議会用語、一問一答方式・反問権・自由討議。市民や参考人の議会発言、委員外発言、委員会中継、請願・陳情制度の改善(陳情で紹介議員がいなくても、議会でとりあげる。趣旨採択、一部採択を取り入れる、請願者の発言可)	自由討議(公式の場でなくてもいいが、必要性を痛感)、市民や参考人の議会での発言	議会用語、一問一答、反問権、自由討議、市民や参考人の議会での発言認可
	その理由		議会用語の改善に関して、過度の改善には反対、代えるまでもないものは今のままでよい	—	特に意見が対立する事案に対しては妥協点を見出す努力が必要と考える						地方議会(二元代表制の議会)では、議員個人個人の対応が重要。	—
市民に身近な議会	必要と思うもの(1.休日・夜間の議会開催 2.公聴会の開催 3.議会報告会の開催、その他)		公聴会、議会報告会	今のままでいい	今のままでいい					休日・夜間、公聴会、議会報告会	公聴会、議会報告会、委員会を含め、放送・インターネット等による情報提供→録画中継で可	議会報告会
	その理由		休日・夜間の議会開催は単発では意味がない。開かれた議会にするため、議員個人、議会会派等で、市民との接点を多く持つべき	各議員・会派が報告会等を開催し、市民に報告している。そこを充実することが必要	市民との関係は、議員自らが確立していくものと考え					—	結果だけでなく、経過も知っていただくことは重要。結論を導く参考となる意見も知ることは意義が大きい。	—
その他	本会議で自席での質問・答弁		賛成	反対	—					賛成	賛成、時間の節約になる	賛成
	議会改革会議の市民の傍聴		反対、議会に任せるべき、議員を通して意見を言うべき、何が町をよくするか、議員の務めは何かを考えるべき	反対	—					賛成、公開で透明性をはかり、市民の参画を促す	賛成、反対する理由がない	賛成
	政務調査費・収支報告書・視察報告書のホームページへの掲載		—	反対	既に公開文書として整理されており、今はHPへの掲載に要する費用に重点をおくべき					賛成、お金の流れを透明化し、市民のチェックが簡単に行えるように。視察は公費を用いているので、広く共有すべき	賛成、政務調査費の掲載はすぐに。視察報告は量的に多くなるのでその方法を検討	賛成
市議会改革への自由記述			4年間の議員の活動を見ていただいたの判断ということで地方自治法93条で改選期が定まっている。議会改革の必要な点はまだまだある。何のための議員の選挙があるのか。とても見ていられないとか、議員を通してなんかではまどろこしいというのであれば話は別。もっともっと議員が一般的な市民と接点をふやせるような政治活動をするよう努めるべきは当然。	—	—					議会基本条例の策定会議の公開。市民と市議会の意見交換会と議会モニター制度の実施。議員の審議会報酬の廃止、議員年金(3期以上議員経験者の年金全額受け取り可)の自主的に部分返上を！全額とはいわないが(毎年市の一般会計から約1億3千万円計上)	幹事長会議ではなく、無所属でも参加でき、自由に議論できる委員会を設置すべき。できれば市民が参加できる場も必要。内部的には、改革の目標を共有する必要がある。改革の目標は、開かれた議会、身近な議会で、市民とも共有すべき	議会の活性化の為、請願など市民発言の機会を保障。視察報告化の開催、議会報告会の開催、議会基本条例の制定。一問一答式の一般質問でわかりやすく

お断り: 敬称略、各議員のスペースの幅と順番は、記述量と紙面の関係で、この並べ方になりました。ご了承下さい。選択の設問は、左に書き、各議員のところは、省略した記述になっています。

1つの設問の枠で点線の下は、理由を書いています、スペースの関係で点線の高さが場所により、違ってきます。

箕面市議会議員アンケート(2)

みのお議会ウォッチングの会

		日本共産党(連名で回答)				無所属	無所属	無所属	公明党			民主党				
設問		議員名				神田 斎藤 名手 羽藤	増田京子	北川照子	内海辰郷	西田隆一	牧原	田代	二石博昭	川上	中島	
議会費	削減が必要なもの					役員加算	審議会委員報酬・役員加算	議員定数の削減	議員定数の削減	回答なし	回答なし	議員定数の削減	回答なし	回答なし		
	増やした方がいいもの	—				調査研究費	—	—	—			—				
	その理由	会派の行政視察を廃止し政務調査費で行くべき。行政視察は委員会の視察のみにする				報酬は、生活給でいいが、調査費研究費は必要。できれば事務費、人件費などがあればもっと調査や研究ができ、本来の職務である条例提案なども可能になる	—	少数精鋭	—			時代の趨勢				
議会の政策能力を高める	必要と思われるもの(1.議員研修の充実 2.議会を補佐する事務局の充実 3.議員力検定制度等の活用・その他)	議会を補佐する事務局の充実				議員研修、事務局、政務調査費の充実	事務局の充実	事務局の充実	事務局の充実			事務局の充実			事務局の充実	議員個人の資質と意識に左右されますが、日々の努力と協調性があれば、自ずと政策能力は高まる
	その理由	一人ひとりの議員及び会派で能力を高めるべき				—	議員間の討議、審議会の傍聴・資料配布	二元制を均しく運営する為に、議会側の体制は余りにも脆弱	—			—			反問権、自由討議	
市民に開かれた議会	必要と思うもの(1.議会用語の改善 2.議下での質問の改善、イ.一問一答方式ロ.反問権ハ.議員間の自由討議 3.市民や参考人の議会での発言認可)	—				議会用語、一問一答、反問権(理事者が正しく理解していなければ、議員への攻撃になりかねない)、自由討議、参考人の議会での発言	一問一答、反問権、自由討議の採用	反問権、自由討議	議会用語、一問一答、反問権、自由討議			議会用語、一問一答、反問権、自由討議			箕面市議会は積極的に情報公開や情報提供を行っている。議論を更に深めるために、反問権や議員間討議制を導入すべき	
	その理由	請願者に委員会での提案理由の説明と答弁をしてもらう。紹介議員は、本会議での提案と、委員会での答弁をする。会議規則第90条を改正する必要がある				議員発言に時間制限をかけることは、議員活動を制限することになる	—	言論の府の活性化が必要	—			—			今のままでいい	
市民に身近な議会	必要と思うもの(1.休日・夜間の議会開催 2.公聴会の開催 3.議会報告会の開催、その他)	公聴会の開催(委員会条例第20ー26条に規定されている、必要に応じて開くとよい)				休日・夜間の議会、公聴会や議会報告会、常務委員会を各コミセンで実施	休日・夜間の議会、公聴会、議会報告会	休日・夜間の議会、議会報告会	休日・夜間の議会、議会報告会			休日・夜間の議会、公聴会、議会報告会			議会はしっかりと議論して、市民の為の政策決定することに尽きる	
	その理由	—				休日・夜間の議会(実施している自治体もあるが、効果があまりあげていない所もある、ライブでの傍聴は、やり方の検討が必要)	—	開かれた議会運営をめざすべき	—			—			賛成	
その他	本会議で自席での質問・答弁	—				賛成(最初の質問は議場、後は自席で)	賛成	どちらでもよい	賛成			賛成			賛成	
	議会改革会議の市民の傍聴	賛成				賛成(議会改革の会議なのに、他の議員はこの会議には傍聴できない)	賛成	賛成	賛成			どちらでもいい			賛成	
	政務調査費・収支報告書・視察報告書のホームページへの掲載	賛成				賛成(報告書をしまっておくだけなのはもったいない、市民と共有すべき)	賛成	賛成	賛成			賛成			賛成	
市議会改革への自由記述		—				同じことを発言しても、少数派が発言すれば×、多数派なら○になる。どの議員も選挙で選ばれて対等で、お互いの立場を尊重しあうなら、もっと議論が深まるはず。議会報告や市政の事を伝えたり、現場の視察、調査研究にも経費がかかる。地方分権でも、国の政策を把握しないと、表面的な議論しかできない為、国の担当者の説明を聞く必要があり、こういう調査研究の為に政務調査費が不可欠。公聴会、参考人招致だけでなく、要望や請願に対しても議会が直接聞くという場が必要。他に、効率が悪い委員会視察の見直し、グリーン車の完全廃止。議会だよりをもっと読みやすく。	市長提案の議案に対しては、市長部局に対する質疑が終わった後、委員同士で議会の総意を図るための討議の時間が必要。今の「意見」を述べる時間を、ただ自分の意見を一通り言い合うだけでは、議会の総意を納得いく形で見極められない。・一人会派を認め、一人でも多くの意見書を出せるようにする。意見書の扱いを透明にする・議会改革会議は一人会派からも出られるようにする。・たった25人の人数で会派主義を取る必要はない、一人一人が是々非々の立場で臨むのが基本である	—	—			—			箕面市議会では、普段から議会改革に取り組んでいる。H20年に議会改革会議を立ち上げ、議論してきた。①代表質問と一般質問の動画配信②決算審査の前倒し③本会議場演壇の障がい者対応④本会議場傍聴席の環境改善、今後も情報公開。情報発信、議会運営、議員意識、市民意識、市民感覚を意識しながら、必要な改革を実行。議会の役割は、しっかりと議論すること、課題や論点を明確にし、合意形成を図ること、市としての政策決定することです。	

お断り: 敬称略、各議員のスペースの幅と順番は、記述量と紙面の関係で、この並べ方になりました。ご了承下さい。選択の設問は、左に書き、各議員のところは、省略した記述になっています。

1つの設問の枠で点線の下は、理由を書いています、スペースの関係で点線の高さが場所により違ってきます。